

## ダクト抵抗計算【平成 21 年版】 新機能ご紹介

『ダクト抵抗計算【平成 21 年版】』では、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「建築設備設計基準 平成 21 年版」、「建築設備設計計算書作成の手引 平成 21 年版」への対応の他、機能追加、問題の修正を行っております。

### 【ご注意】

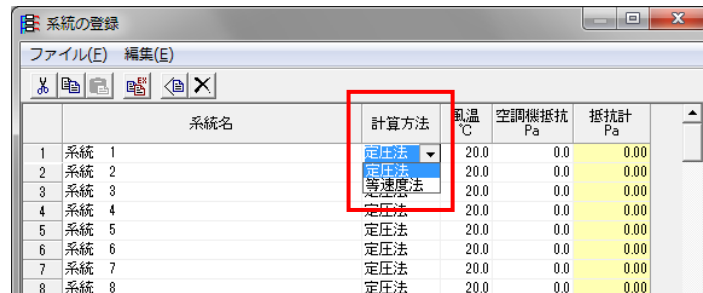
- ・旧バージョンで作成した物件ファイルを開くと、新バージョンの内容で再計算します。  
再計算前と、計算結果が変わることがあります。
- ・「平成 21 年版」にて保存した物件ファイルは旧バージョンでは開けませんので、保存時にご注意下さい。

### <必要システム>

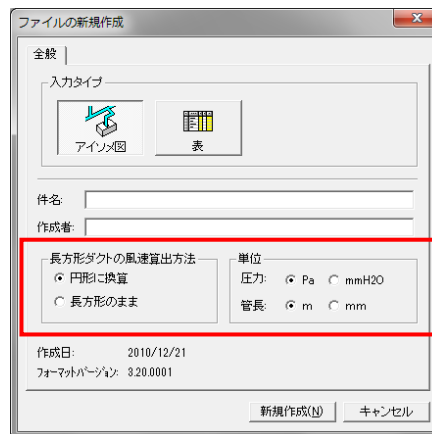
OS	Microsoft Windows XP (SP2 以上) Microsoft Windows Vista (SP1 以上) Microsoft Windows 7 (32bit(x86)/64bit(x64)版に対応)
CPU/メモリ	お使いの OS が推奨する環境以上
ディスプレイ	1024×768 ピクセル以上 HighColor 以上を推奨
ハードディスク	インストール時に 20MB 以上の空きエリアが必要
ディスク装置	CD-ROM ドライブ
インターフェイス	USB 2.0 / USB 1.1 ※ハードウェアキー (USB) で使用
必須ソフトウェア	<b>Microsoft Excel 2000/2002/2003/2007/2010</b> ※本ソフトで印刷、ファイル出力等を行うために必要

## 1. 入力画面・計算

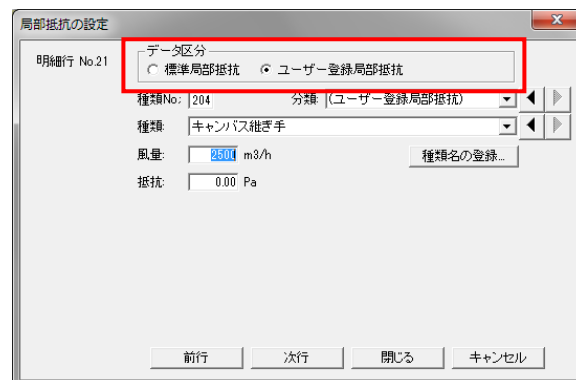
- 「建築設備設計基準 平成 21 年版」に準拠して、「等速度法」での計算に対応しました。  
各システムで、従来の「定圧法」または「等速度法」のどちらかを選択します。(初期値は「定圧法」)



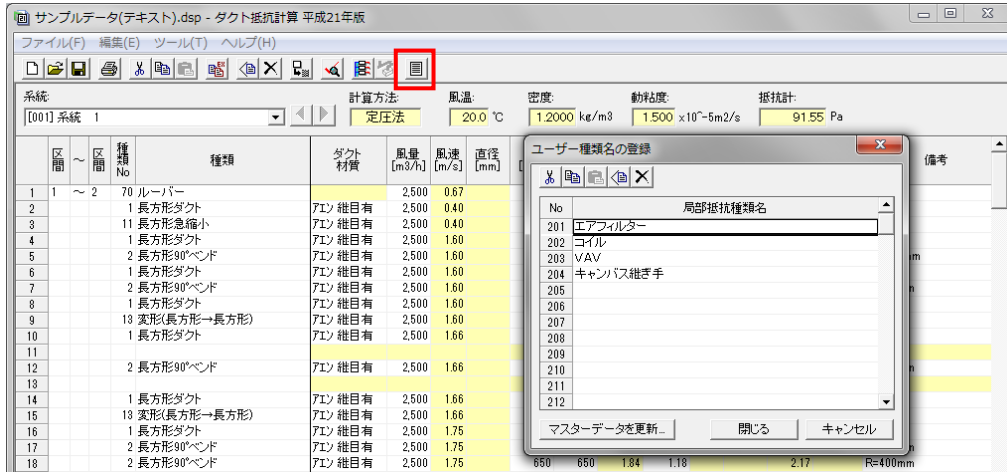
- 画面「ファイルの新規作成」で、「長方形ダクトの風速算出方法」と「単位」の選択が可能になりました。  
※選択後に、画面「オプション」での変更も可能です。



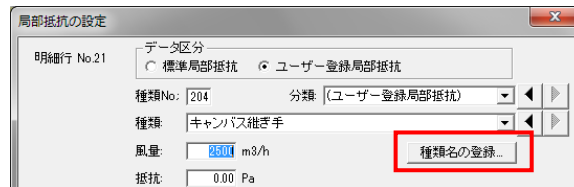
- 画面「局部抵抗の設定」の、局部抵抗値の直接入力について改善しました。  
標準局部抵抗データ(建築設備設計基準および便覧記載データを使用)または、ユーザー登録局部抵抗(ユーザーが抵抗値を直接入力)をオプションボタンで選択してから入力します。



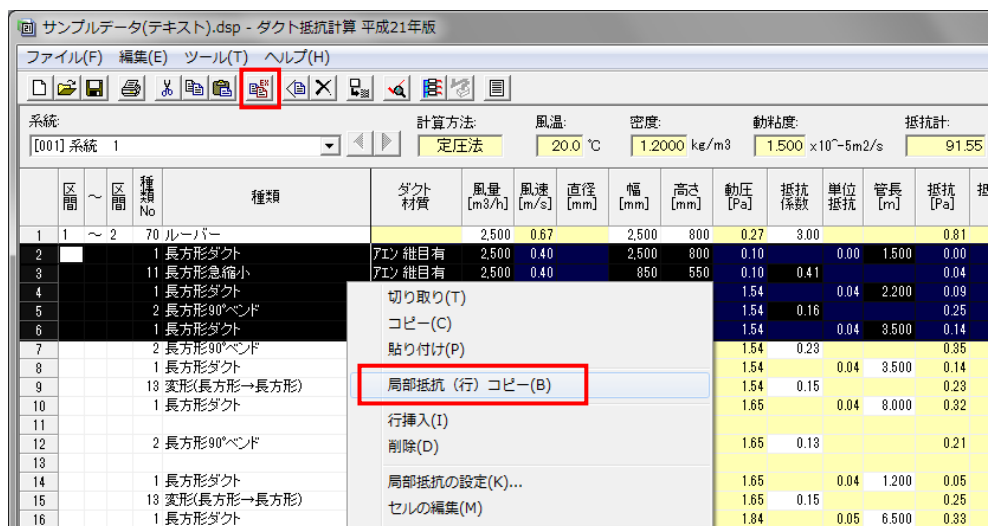
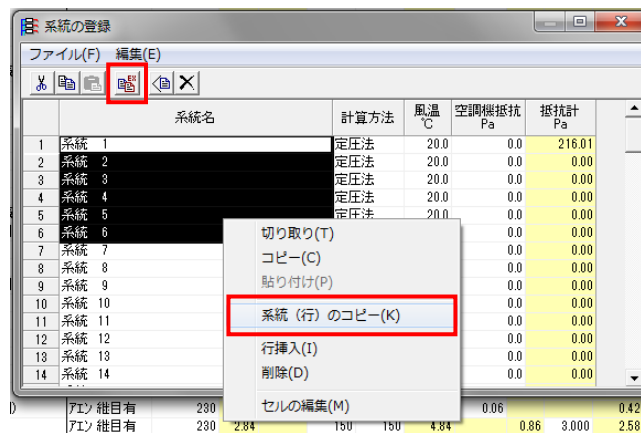
- 画面「ユーザー種類名の登録」が、ツールボタンからも開けるようになりました。



※従来通り画面「局部抵抗の設定」から登録することも可能です。

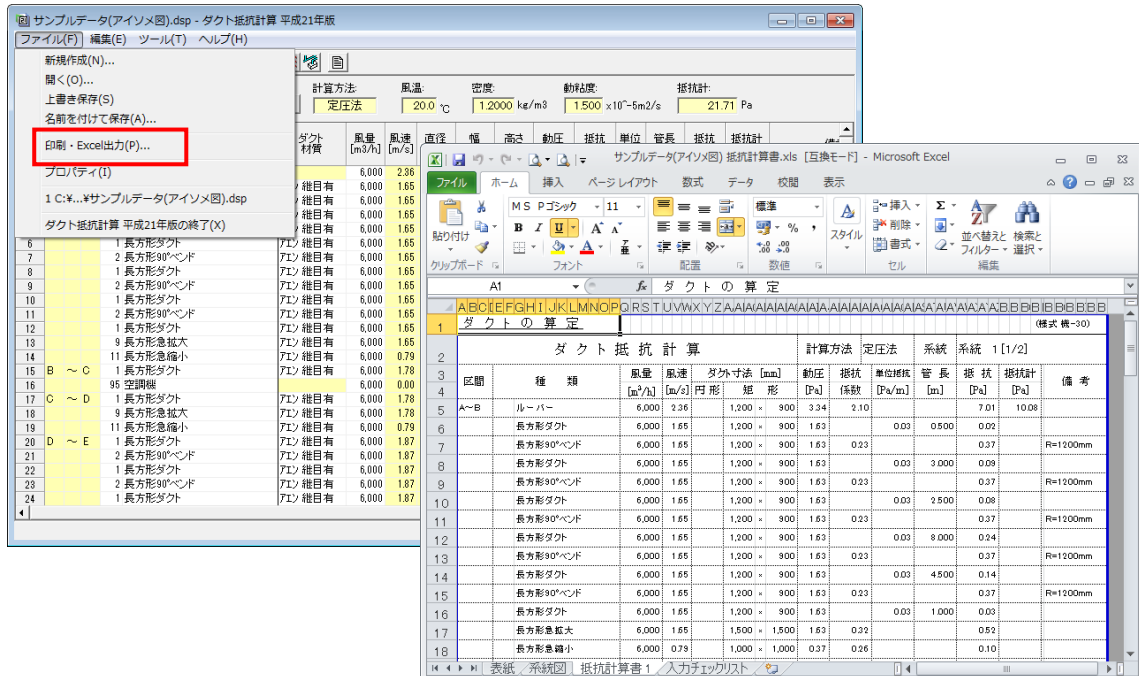


- メイン画面と画面「システムの登録」に、系統・局部抵抗(行)コピーボタン(またはメニュー)を追加しました。

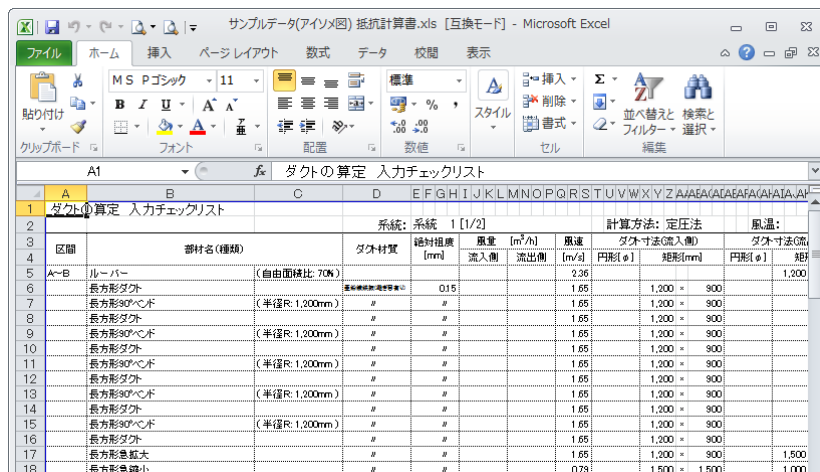


## 2. 印刷

- 「建築設備設計計算書作成の手引 平成 21 年版」に準拠し、様式レイアウトを変更しました。
- 印刷帳票を Excel ファイルとして出力できるようになりました。通常の印刷やプレビューも可能です。  
※Microsoft Excel 2000/2002/2003/2007/2010 がインストールされている必要があります。



- 局部抵抗種類で「ベンド・エルボ」を選択した場合に、帳票「ダクト抵抗計算書」および「入力チェックリスト」の備考欄に入力した情報(半径 R 等)を表示するようになりました。
- 帳票「入力チェックリスト」のレイアウトを変更しました。チェック等が行いやすくなりました。



## 3. その他

- Windows 7 (32bit/64bit 版) に正式対応しました。
- こちらで紹介した内容以外にも、細かな仕様変更、問題の修正を行っています。

以上